

とくしんNIEワークシート 死亡事故のクマ牧場 (小学校6年～中学2年生向け)

月	日	年	組	名前
---	---	---	---	----



秋田八幡平クマ牧場のヒグマ＝6月、秋田県鹿角市

追跡2012 死亡事故のクマ牧場 県費3億円超で新施設 死亡事故のクマ牧場

樹木を生かし、自然に近い環境のクマを地上5メートルの遊歩道から観察できる。秋田県が3億4800万円を全額補助し、北秋田市所有の阿仁(あに)熊牧場に新しい施設を建設する計画が進んでいる。この施設に入るのは、女性従業員2人がヒグマに襲われ死亡した秋田八幡平クマ牧場(廃業、鹿角市)に残るヒグマ20頭。殺処分を避けたい県がたどり着いた結論は、多額の県費投入だった。個人経営牧場のクマのために県がどこまで負担すべきなのか。建設には疑問の声も上がっている。事故後、牧場には20頭以上

のクマが残った。引受先を探そうと、県は全国のクマ牧場や動物園に呼び掛けたが難航。8月、北秋田市が全頭引き受けを表明した。「殺処分は残酷。観光に力を入れる県のイメージダウンにもなる」と津谷永光(つやえいこう)市長。1990年にオープンした阿仁熊牧場の建設費は1億8千万円。現在では東北地方唯一のクマ牧場で、ツキノワグマ75頭とヒグマ1頭がいる。受け入れは、県の支援で新しい施設を造る条件付きだった。先にツキノワグマ6頭を11月に移送、県は残るヒグマが入る新施設の概要を発表した。来年夏に着工し、冬前には全頭を移動させる計画だ。「なぜ国費ではなく県民負担で施設を造らなければならないのか」。東海林洋(しょうじょう)議員は12月県議会で疑問を投げかけた。「国に財政支援を要望しているが実現は難しい」と佐竹敬久(のりひさ)知事。「動物を大切にする秋田県というメッセージ発信により、県のイメージアップにつながる」殺処分について、県内外から県に寄せられた意見の9割が反対だった。容認派の中には「県費投入は理解できない」という声もあった。県は研究施設や命の大切さを学ぶ場として活用することも検討、理解を求めていく考えだ。「観光振興や地域活性化につながるとは思えない」。県が描くプランに、地元で製造業を営む北秋田市商工会長の伊藤公夫(まさお)さん(63)は話す。「クマの生態調査や研究なら価値はあるのかもしれないが。できるだけ経費をかけず軟着陸させたいというのが、みんなの思いだ」と語った。 **秋田八幡平クマ牧場事故** 冬季休園中の4月、雪山を登り脱走したヒグマに女性従業員2人が襲われ死亡した。逃げた6頭は射殺された。元経営者と元従業員は6月、業務上過失致死罪で略式起訴され、それぞれ罰金50万円の略式命令を受けた。

(2012年12月26日 夕刊社会面)

- ① あなたはクマ牧場に新施設を建設する3億4800万円を県が支出することに賛成ですか反対ですか、理由をつけて(メモして)発表し合ひましょう。
- ② クマ牧場に新施設を建設する以外にどのような方法が考えられるでしょう。自由に考えて発表し合ひましょう。

答 え

② あなたはクマ牧場に新施設を建設する3億4800万円を県が支出することに賛成ですか反対ですか、理由をつけて（メモして）発表しましょう。

<文例>

賛成・・・ 他の施設が受け入れてくれないとなると、残った熊は殺処分するしかない。たくさんの熊を集め、お金儲けのためにクマ牧場を作ったが、問題が生じたので経営をあきらめて、熊を殺すというのはあまりにも傲慢で勝手すぎる。最後まで責任を持つべきだ。本来は個人（元経営者）がお金を出すべきだが、それができないのだから、県が出すのは仕方がないと思う。

反対・・・ 動物園などの施設に打診しても引き取ってもらえず、「殺すのはかわいそう」という意見が9割以上であったということ踏まえて出した結論のようだけれど、なんとか元のすみかである自然に帰す方法を模索することはできないのだろうか。施設を新設する費用が3億円を超え、それを税金から支出すると聞けば、「もっと少ない費用でできないのか」と思うのは人情だ。1度施設を作ればそれで終わりではないだろう。施設設備の維持管理費や、熊のえさ代だってばかにはならないと思う。将来までを見通したよい判断とは思えない。

③ クマ牧場に新施設を建設する以外にどのような方法が考えられるでしょう。自由に考えて発表しましょう。

<文例>

- ・お金をとって人に見せるためのクマ牧場でなく、生態を研究するための施設を作るのであれば、熊を殺さずに済むし、もっと安くできるだろう。
- ・生態を観察する中で、クマと人間の共存を実現する方法を模索する。人間の安全を確保しながら少しずつ山に帰すこともできるのではないか。
- ・殺すのはかわいそうだけれど、これ以上増えないように細心の注意をはらいながら、小さな小屋を建てて、寿命があるかぎり観察しながら飼育することで、飼育する人間の最低の責任を果たすのがよい。

など、現状を踏まえて、問題解決のための方法を見つけ出そうとすることは、意見・考えを持つ学習となり、思考力・判断力を伸ばす場となることが期待できます。

徳島新聞出前授業「**新聞記者になろう**」受け付け中

問い合わせは読者室 電 088(655)7418

※ 難しい漢字や言葉は辞書で調べましょう

※ 設問は一つの例です。授業の目標や学級の実態にあわせて自由に変えて使ってください

※ 先生方へ・・・取り上げるテーマや「この設問はうまくいかなかった」「こんな設問でうまくいった」等、ワークシートについてのご意見をお寄せください

読者室 FAX (0120)550380